

# 我がクラブの目指すところ (IM第5組)

大阪中央RC 会長

## 辻川 功一

我がクラブは、社会奉仕、国際奉仕、クラブ奉仕、職業奉仕、青少年奉仕に対しバランスよく活動ができていると思っています。

今後の課題としましては、ロータリー財団・ロータリー米山奨学会に対するより深い理解と協力を行うことを考えています。より多くの会員がより多くの貢献を行うことが重要だと思っています。これによりポリオ撲滅等のお役にたてれば何よりだと考えています。

また、奉仕活動の活発化のためにも新しい試みとして

「ロータリー以上」ということを行っています。年末に有志が集まり音楽会を行い、その収益金を社会奉仕や国際奉仕に役立てたりしています。

また、国際奉仕では、新しい協力先を絶えず見つける努力をしています。青少年奉仕では、RACのメンバーと協力し、社会奉仕活動を通じてロータリーのイメージアップに繋がる活動を行っています。

クラブ全員で、このような活動をどんどんしていくことが楽しみです。

大阪堂島RC 会長

## 川村 俊明

当クラブは、大阪西北RCをスポンサークラブとして1987年6月に発足し、現在27年目を迎えております。

現在会員数は30名弱で(新入会員は4名入っていたきましたが)漸減傾向にあることは否めません。

そこで、当クラブの本年度のキャッチフレーズとして「楽しく愉快に!!」を掲げております。

ロータリーの高邁な理想である、高度な道徳的水準を守りつつ、世界親善と平和を目指し、人道的奉仕を行うことも、一人一人のロータリアンが、その実践活動を「楽しく愉快に!!」行うのでなければ、成果も上がらないし、

持続しないと思うからです。

そして、各会員が所属の各奉仕委員会活動を「楽しく愉快に!!」行うことに触発され、他の会員もその活動に積極的に参加し、より一層質の高い奉仕活動を共に実現することが出来るであろうと考えるからです。

このように、各会員が積極的に質の高い奉仕活動を行うことを通じて、互いに人的関係を高め合い、結果的に「会員の維持・増強」に結びつくであろうことを確信しています。

大阪北RC 会長

## 村上 満

当クラブの本年度のスローガンは「明るく楽しいロータリー」。

ロータリークラブの活性化とは何と言っても新会員が加入し常に新陳代謝が行われることです。そのためにはクラブライフ・活動に魅力があり、新会員が「ロー

タリーは面白い、楽しい」と先ず感じてもらうことです。そこで以下の点に特に留意しました。

1. 卓話は興味を湧き役に立つこと。
2. 会員懇親会等のイベントは楽しいものにする。

企画立案運営は出来る限り若い会員にやってもらい

- 先輩は我慢して任せる。
3. 同好会設立を奨励して活性化する。
  4. 新会員のロータリー理解の一助としてロータリー塾を開催する。
- これらの努力のお蔭で当クラブでは新会員で3年以

## 大阪北梅田RC 会長 伊藤長範

やはり「楽しいクラブ」である事が基本であると考えます。楽しくなければ例会にも行かなくなるだろうし、様々なロータリー活動への参加も消極的になってしまいます。

毎回主要課題となる会員増強も、自分自身が楽しくロータリー活動に積極的に参加してこそ、そして参加することが楽しいからこそ人に入会を勧められるもので、まず自分の所属するクラブが楽しいということが原

内の退会者はほとんどゼロ。現在の会員数は200名弱で、今年度の目標は210名ですが、少なくとも205名は実現したい。いい人に入会してもらうことが柱で「誰でもいい」などの考えは徹底排除。喫緊の課題は出席率の向上であります。

点になると思います。

会員だけではなくその家族も巻き込み、ロータリー活動に理解をしてもらう人の輪を広げることも忘れてはならない大切なことだと思います。

我がクラブはこのような観点から「楽しいクラブ」となるように親睦活動にも力を入れ、会員の皆様が有意義なクラブライフを送れるように努めることを我がクラブの目指すところとしております。

## 大阪西RC 会長 高士雅次

大阪西ロータリークラブは、昭和32年に創立された歴史あるクラブです。

昨今は、震災復興支援を始め奉仕活動に積極的に取り組んでおり、本年度の地区大会では「意義ある業績賞」をいただけるとお聞きしております。

本年度も引き続き、震災復興支援を始め、幅広い分野で積極的な奉仕活動に取り組んでいく予定です。そして、震災復興支援活動やFVPを推進するなかで出来た絆を友好クラブ締結という形にしていきたいと考えて

います。

また、入会年次の新しい会員に活躍の場を多く提供することによって、これからのクラブを担う人たちにロータリーを実践する機会を増やし、ロータリーの素晴らしさを感じていただきたいと思っています。

もちろん当クラブの伝統である親睦活動に力を入れていくことも忘れていません。

これらの活動を通じて、このところ増加に転じ始めた会員数をより一層増やして行きたいと考えています。

大阪大淀RC 会長

## 矢野 巖

2013年2月21日に創立40周年記念事業を成功裡に終える事が出来ましたが、5月末に会長エレクトが病欠し、6月末には残念ながら会長エレクトを含む多くの退会者が出ました。

そこで、私が急遽2回目の会長職の指名を受けたわけですが、スタート時には大変困惑しました。今は、新しい素晴らしい仲間3名にも入会して頂き、クラブ一丸となって協力し合っています。更に、理事・役員達は奉仕活動に頑張ってくれています。

私は会員一人一人が例会において5分間卓話をやって頂き、ロータリアンとしての「心と実践」体験して貰っています。

ロータリーの真髓を研修しつつ親睦を深めていくことを大切にしながら、奉仕活動を実践して、年度末には我が大淀ロータリーのメンバー全員がロータリーの素晴らしさを体験していけるよう心掛けていきたいと思っています。

大阪リバーサイドRC 会長

## 徳山善雄

大阪リバーサイドロータリークラブは創立34年を迎えるにあたり、本年度テーマ(指標)は「会員の融合～クラブ力の向上」です。

### 1. 会員の融合

例会・親睦行事・情報研修会・I D M (Informal Discussion Meeting) 等では会員間の懇親を深め、各奉仕活動では委員長だけが奮起するのではなく、各委員会が委員長を中心に委員全員が参加～議論～立案～実施して会員間の融合性を高めたいと思います。

### 2. クラブ力の向上

奉仕活動・地区大会等の全てのロータリー活動において「誰かがするのではなく、誰もが取組む」を基本

骨子とし、会員全員が出来る限り参加することがクラブ力の向上になると思います。

以上のテーマに基づき、当クラブは密度の高い奉仕活動を主としたロータリー活動を会員全員が出来る限り参加し実施していきたいと思っています。

何よりも「例会出席」がロータリー活動の基本であり、且つ、「会員融合～クラブ力向上」の始まりですので、本年度は全会員が例会出席率100%(メーキャップ含む)を指標としております。現時点ではありますが、前年対比10%以上の出席率向上を達成しています。

これからも全会員参加型のロータリー活動・奉仕活動を行っていききたいと思います。

大阪西北RC 会長

## 小山 登

当クラブは今年創立45周年を迎えます。45年の歴史と伝統を継承し、一昨年は「クラブの品格」を高めて頂きました。昨年は『クラブ力』を高めて頂きました。この

経過を受けて、今年度の西北の理念は、『絆を高めよう』と決定致しました。この場合の「絆」は『断つにしのびない恩愛』『離れがたい情実』と理解し共有致しております

す。絆によるクラブの団結力を高めます。

今年度の会長を引受ける時に頭を過ぎったのが、『健康』問題です。当クラブのここ3年間に5名(60代2名・70代2名・80代1名)の会員が亡くなりました。全員ご病気です。現在の例会食(食生活)の見直しを実行致します。

歴史経過から見て『食は命なり』と申します。せめて

## 大阪そねざきRC 会長

### 長尾依子

私ども大阪そねざきロータリークラブは本年度、お陰様で20周年を迎えます。我がクラブの目指すところは、会員の結束を固め、品性ある王道を行くクラブ運営をおこなうことです。そのために新入会員と既存会員の質にこだわり、会長の時間を、有効活用して、誠心誠意、大切に、大切に啓蒙、啓発のためのお話が出来よう、こころを砕いてまいりました。

早6か月が経ちました。チャーターメンバーより、過日、卓話時に「素晴らしいクラブになってきている」との

週1回の例会食事の改善からはじめよう、と言って2年目になります。事は簡単ではございませんが、例会場にご無理を言って、ご飯食から始めております。主食がご飯ですから、自ずと副食も和食に傾注致します。

最近是世界遺産に『和食』が脚光を浴びております。出来る事であれば、この食生活の改善を啓発・普及させたいと思念致します。

言葉が出るほどに、当クラブの会員の質は素晴らしいと、例会時や、奉仕活動時に、会長として、実感するに至っております。

クラブ運営方針は「本年度20周年度新たなスタート節目にしよう！」＝楽しく、豊かに、実践しよう！＝①20周年事業の成功 ②会員の維持・増強 ③FVPによるプロジェクトの初取り組み(特に東日本大震災の復興支援と次世代育成)の三項目を重要項目と致しております。

## 大阪梅田RC 会長

### 内海閑一郎

クラブは創立37年目に入り、ロータリーとしての歴史を築き地域社会及び海外に目に見える奉仕を実施し、それぞれ、生活改善、向上に実績を積んで来た。

しかし、近年クラブ会員数は最盛時に比べて半減、クラブ運営(経費を含む)にも心配が生じ始めた。此の事から、我がクラブは当面下記事項を改善し、その実践を目指す。

- (1) 毎年、クラブテーマを決めて、クラブを再活性化させ、全会員がロータリー活動を実践する事を目指す。本年は「会員の和でクラブを発展させよう!!」である。
- (2) 会員増強  
会員増強・維持は会員個々に与えられた「義務」。目

標を立て全員で事に当たる。当面はクラブ会員数40名をめざす。

○短期 2013～14年度 3名以上(純増)

○中期 2014～17年度 8名以上(純増)

○長期 2017～27年度 15名以上(純増)

会員相互の意志疎通を図り友好、親睦を深め、クラブに和を広めて、退会防止に努める。又、名誉会員制度も活用し、例会時の会員数増強をはかる。

- (3) クラブ経費の節減徹底をはかる。

- (4) 奉仕の実践

地域社会の奉仕のニーズを探し、その実践に務める。ロータリーはあくまで個々人の自主参加で奉仕する

I SERVE を基本としている。今年はどんな小さい奉仕でも、各人他人に尽くす事としている。

(5) ロータリーを学ぶ

「ロータリーの目的」と「R I 戦略計画の理念」についてクラブ内に研修会を設け、会員全員、理解を深める

ように努める。

(6) ロータリー財団と米山に資金とプログラムで参加し、支援する。

(7) 「四つのテスト」を毎週1回全員で唱和し、ロータリーの心を理解するよう努める。

大阪梅田東RC 会長

## 山村幸久

現在、日本の経済状況は上昇気流に乗れるか否かという時代に直面しております。

我がクラブもこの流れに乗り遅れることのないよう会員増強に奔走しており、平均年齢が65歳を超える我がクラブですが、今年度は前期だけで7名(平均45歳)の新入会員を迎えることができました。後期には10名の増員を予定しているため、計40名で次年度に引き継ぐことができれば、私が会長を務めるにあたり掲げた目

標を達成することができます。

また長期的展望として、我がクラブは地域密着の活動のみならず、国際的な奉仕活動にも携わっていかねばならないと思っております。

私が思い、努める奉仕とは、心(おもいやり)と使命感をもち、サービスではなくホスピタリティーの精神で人々の保護者となり、自身の心と体で行うものです。皆様に共感頂ければ幸いです。

大阪ユニバーサルシティRC 会長

## 久保田秀一

大阪ユニバーサルシティロータリークラブの奉仕活動の核であり、最も重要な事業は、毎年USJで開催されるロータリーXmas in USJです。

施設の子供たちをUSJに招待し、楽しくふれあい思い出に残る様な日を過ごしてもらい、すこやかに成長してくれることを願っています。

Xmas in USJは会員全員、会員の家族、友人、知人、ライラの方々又他クラブの会員、関係者の協力により行われています。

この事業を継続的に行うことにより、会員数が増え、会員同士親睦がより深まり、クラブが発展する様願っております。